

一日の始まりは 明るい“あいさつ”で

学校長 高木 篤子

「金沢小学校1年生になった皆さんと、最初に約束を一つしましょう。それは、元気に挨拶をすることです。私は、朝、副校長先生と専任の先生と一緒に学校の門に立って、皆さんをお迎えしています。『おはようございます』と、元気に挨拶してくださいね。」

入学式で、このようにお話ししました。次の朝から、1年生も上級生と一緒に、校門で『おはようございます』と、しっかり挨拶できています。

子どもたちの挨拶の声や表情、挨拶の仕方には、その子らしさが表れています。活気あふれる声の子、柔らかく優しい声の子、丁寧にお辞儀もする子、にこにこ笑顔の子、そっと近くで挨拶してくれる子。

「いい声だね。花丸の挨拶だよ。」「先に挨拶できたね。」「風邪が治って、よかったね。」など、副校長と児童支援専任と三人で声をかけています。副校長は、8時に門の扉を開いていちばん大きな声で挨拶しています。専任は、いつも細やかに子どもたちの様子を把握して話しかけています。

学校の前を通る中学生に「いってらっしゃい」と声をかけると、少しはにかみながら会釈してくれます。保護者の方から「雨の中、大変ですね。」「よろしくお願ひします。」など、あたたかいお言葉をいただくこともあり嬉しく思います。

挨拶されるとほっとしたり、心地よさを感じたりすることができます。それだけでなく、自分から声を出して挨拶すると、気持ちがすっきりしたり、前向きになったりします。一日の始まりは、明るい挨拶で。そして、これからも、ご家庭で、地域で、学校で、子どもたちの心を育む挨拶を広げるよう、よろしくお願い申し上げます。

あかるく 明るい声で 明るい顔で あいさつを

いつも いつも いつでも その場に合った あいさつを

さきに 相手より先に 自分から進んで あいさつを

つづけて ずうっと 続けて 心を込めて あいさつを

